

日本モンテッソーリ協会（学会）中部支部

令和3年5月吉日

中部支部長 村田 尚子

4月より新年度がスタートしまして1か月余りすぎましたが、少しずつ落ち着いてきた頃かと思います。皆様お元気でお過ごしでしょうか？

令和3年度の中部支部の活動でもあります定例研究会は、新型コロナウイルス感染症感染予防の為、森下先生によるリモート講義研究会、そして書面発表とさせて頂いておりました。

是非、令和3年6月12日の定例研究会は、対面研究会で皆様とお会い出来たらと願っておりましたが、残念な事に愛知県にも緊急事態宣言が発出されました。

新型変異コロナウイルス感染症が、蔓延している昨今の社会状況から、6月の中部支部定例研究会は、リモート研究会とさせていただきたく、お知らせいたします。

詳細は、以下の様ですので宜しくお願いいたします。

日時 令和3年6月12日（土） 13時30分～15時30分頃まで

講師 野原 由利子先生

講演内容 テーマ：モンテッソーリの「コスミック教育」の理解と私たちが受け継ぐべき使命について

副題：第一次大戦、第二次大戦下のモンテッソーリとガンジー、

そして1942年ガンジーからの「すべての日本人への手紙」の背景にあった日本の歴史的事実を振り返る

そして1942年ガンジーからの「すべての日本人への手紙」の背景にあった日本の歴史的事実を振り返る

内容：二つの大戦の経験とインドでの東洋哲学との出会いにより、モンテッソーリはコ

スミック思想に到達、コスミック教育の重要性を提唱しました。

モンテッソーリとガンジーには、深い相互理解と協力関係がありました。

1942年ガンジーによって「すべての日本人への手紙」が寄せられた時代、日本は

どのような状況にあったのでしょうか。1931年から1945年の15年間、日本の

指導者たちが犯した他国民への加害と自国民に強いた犠牲の事実を再確認する

ことで、多くの犠牲者への贖罪と平和への誓いによって産み出された「日本国憲

法」の意義も鮮明になってきます。

年表に沿いながら、歴史の事実を確認し、改めて私たち日本人が受け継ぐべき「コ

スミック教育の内実」を再確認したいと思います。

野原 由利子先生より、講義にあたり中部支部会員の皆様に沢山の原稿を頂いて、感謝

いたしております。尚6月12日（土） 野原先生の講演を受講希望される方は、村田

まで5月末日までにメールにてご連絡ください。

追って、リモートIDのお知らせ、講演原稿、資料を皆様のパソコンメールまで添付

させていただきます。

村田アドレス ginesu.lovely@outlook.jp

日本モンテッソーリ協会（学会）からの好意で、中部支部活動のお知らせやご報告を

随時、ホームページに掲載していただいておりますので、どうぞご覧ください。

中部支部会員皆様のご参加をお待ちいたしております。お体、どうぞご自愛ください。